

人類共通のかけがえのない財産として

未来の世代に引き継いでいくべき地球の宝物を守るために
保護者・指導者の方へ

「知床」「白神山地」「屋久島」に続き、日本の世界自然遺産の4つ目として平成23年6月「小笠原諸島」が登録されました。小笠原諸島の自然環境は、そこに棲む生き物たちには独自の進化を遂げたものが多く、特徴的な生態系がみられます。

その一方で、様々な動植物の侵入による生物多様性への影響が続き、小笠原の種や生態系、景観を後世に引き継ぐうえで重大な危機に直面したことから、自然再生が進められています。外来生物対策や自然再生は、世界自然遺産登録の一つの指針であり、同時に、日本中で起きている自然再生の先駆的事例といえます。

外来生物の侵入には様々な要因がありますが、悲しいことに、我々人間によるものが大変増えています。自らの手で自然破壊を起こしているのです。

私たちが自然に対し貢献できることは様々ですが、自然再生は、地球上に生きる全ての生物と未永く共生していけるよう努力する人間の責務の一つだといえます。

この教材は、世界自然遺産「小笠原諸島」を例にあげ、生物の進化の不思議や順応性を知り、なぜ今『自然再生』が必要なのか？人間が自然に対し貢献できることは何か？を考えるヒントを子どもたちに提供します。そして、子どもたちが住んでいる地域に目を向けさせ、身近なところでも外来生物による問題が発生しており、その対策、自然再生への取り組みが行われていることを学ばせます。

自然の喪失は、世代、時代を超えた絆の喪失にもつながります。

自然再生を考えるもう一つの意味は、人間性の回復につながることであり、と考えています。

※この教材の目的は、外来種を排除することでも、固有種と外来種の優位を論じるものでもありません。

外来生物の侵入から日本の自然を守れ！
ボクたちの自然再生プロジェクト

<http://nature-pj.info>

特定非営利活動法人 地球船クラブ

<http://chikyusen.org/>

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-12